

## 決算の特徴

平成27年度における歳入歳出差引額は15.8億円の黒字となりました。

歳入は市税が主に製造業を中心とした企業業績が伸び悩んだため、法人市民税や固定資産税が減少した影響で0.7億円減少したこと、斎場改修事業や小・中学校特別教室エアコン設置事業などの建設事業債が減少した影響で地方債が13.0億円減少したことなどにより、歳入規模は前年度と比べ7.0億円減の278.8億円となりました。今後も多様化する行政需要に対応するためには、市税等の収納率向上など自主財源を確保していく必要があります。

歳出は、各種の扶助費が年々増加していることから、歳出規模は増加傾向にありましたが、平成27年度は自立支援サービス等給付費、生活保護扶助費などの国の施策に伴う事業の影響により、民生費が1.8億円増加しているものの、斎場施設改修事業費の減や保健センター改修事業の終了などにより衛生費が3.5億円減少したことや、小・中学校特別教室エアコン設置事業、総合体育館改修事業の終了などにより教育費が9.2億円減少したことで、歳出規模は前年度と比べ10.7億円減の263.0億円となりました。

## 平成27年度に取り組んだ主な事業

### 民生費

<前年度比1億7,695万円(1.9%)の増加>

●障害者自立支援給付事業	11億7,929万円
●子ども医療費支給事業	2億2,430万円
●放課後児童対策事業	1億5,562万円
●児童手当支給事業	12億5,167万円
●生活保護事業	14億2,866万円

### 教育費

<前年度比9億2,010万円(22.3%)の減少>

●幼稚園就園奨励事業	1億2,380万円
●少人数学級編制事業	1億2,248万円
●小・中学校トイレ改修事業	4億4,654万円
●英語教育推進事業	4,509万円

### 土木費

<前年度比1億3,835万円(4.2%)の減少>

●道路新設改良・維持事業	6億5,250万円
●橋りょう新設改良・維持補修事業	7,831万円
●河川等改修・維持管理事業	1億7,136万円
●JR行田駅前広場周辺再整備事業	774万円
●総合公園プール跡地再整備事業	1億2,796万円

### 総務費

<前年度比1,042万円(0.3%)の増加>

●行田市CMコンテスト開催事業	208万円
●新地方公会計基準対応事業	432万円
●子育て世帯定住促進奨励金事業	4,458万円
●循環バス運行経費補助事業	7,110万円
●女性活躍推進事業	100万円

### 衛生費

<前年度比3億5,441万円(15.7%)の減少>

●救急医療体制等整備事業	6,382万円
●健康づくり推進事業	708万円
●予防衛生事業	1億8,046万円
●斎場整備事業	3億4,319万円
●ごみ処理事業(可燃・不燃)	5億3,785万円
●資源リサイクル事業	9,607万円
●し尿処理事業	1億1,992万円

### その他

●田んぼアート米づくり体験事業	932万円
●多子世帯支援米給付事業	332万円
●農道及び農業用排水路整備事業	9,445万円
●プレミアム商品券発行事業	1億6,000万円
●起業家支援事業	1,252万円
●産業交流拠点整備事業	835万円
●企業立地促進事業	1億2,498万円
●パスターミナル観光案内所整備事業	5,324万円
●わらアート制作事業	600万円
●消防車両整備事業	1億5,714万円
●防災行政無線デジタル化整備事業	1億4,333万円



小・中学校トイレ改修



田んぼアート米づくり体験



パスターミナル観光案内所整備



消防車両整備

## 行田市の家計簿をお知らせします

# 平成27年度 決算報告

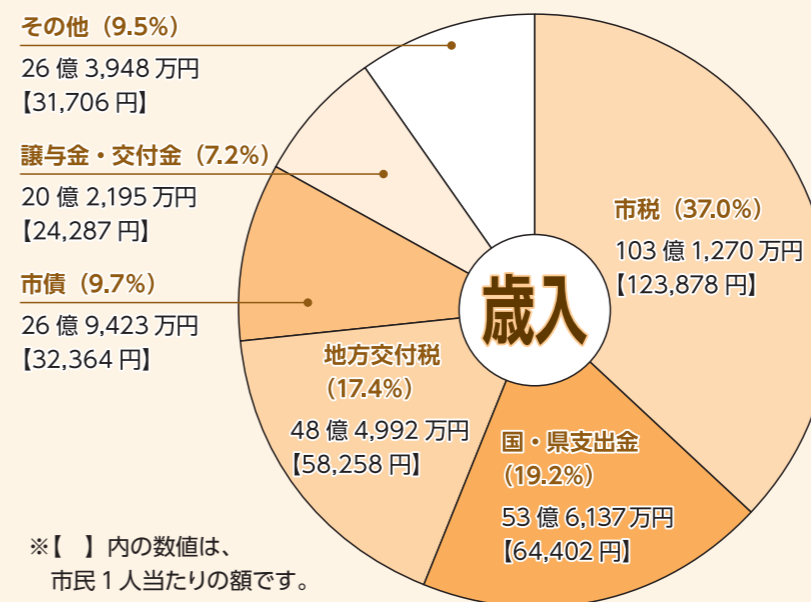
平成27年度の決算がまとまりました。

決算は、自治体の予算執行や財政運営を明らかにするもので、自治体の家計簿といえるものです。

市民の皆さんからいただいた大切な税金などの収入がどのくらいあって、どのように使われたのかを見てみましょう。

## 一般会計

歳入総額 278億7,965万円 [334,895円] 前年度比 7億129万円 (2.5%) の減

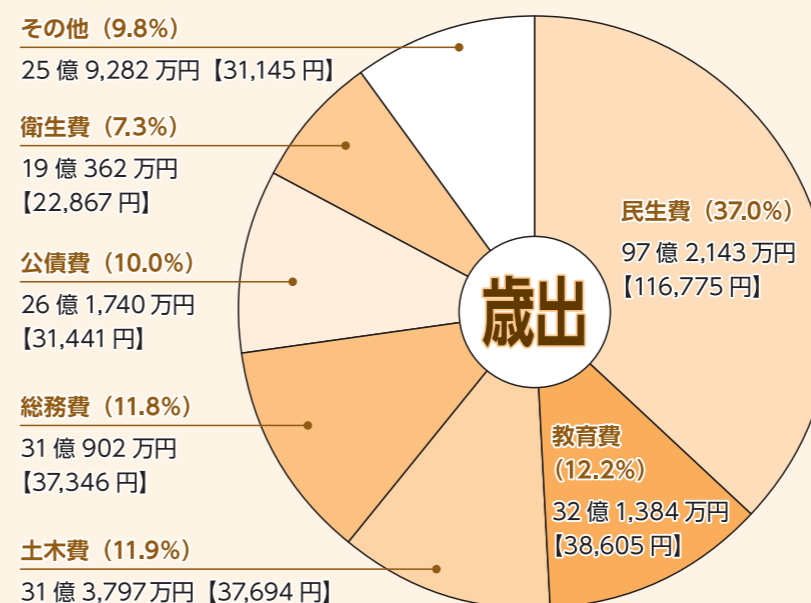


**市税**  
製造業において企業業績が伸び悩んだため法人市民税や固定資産税が減少し、前年度比7,491万円の減となりました。

**市債**  
斎場改修事業や小・中学校特別教室エアコン設置事業などの建設事業債が減少したことにより、前年度比13億292万円の減となりました。

※【】内の数値は、市民1人当たりの額です。

歳出総額 262億9,610万円 [315,873円] 前年度比 10億7,208万円 (3.9%) の減



**民生費**  
自立支援サービス等給付費、保育所運営費委託費などの増により、前年度比1億7,695万円の増となりました。

**教育費**  
小・中学校特別教室エアコン設置事業、総合体育館改修事業の終了などにより、前年度比9億2,010万円の減となりました。

**衛生費**  
斎場施設改修事業の減、保健センター改修事業の終了などにより、前年度比3億5,441万円の減となりました。

歳入から歳出を引いた15億8,355万円は平成28年度に繰り越しました。